



農村で夢を育てる
「とんぼの未来・北の里づくり」



本道の農業・農村は、食料の安定的供給のほか、生態系の保全、美しい農村景観の形成、さらに洪水の防止など多くの役割を有しています。これら農業・農村の資源である農地・水・環境については、次世代を担う子供たちの「夢を育む宝物」として将来にわたり引き継いでいかなければなりません。いま、道内各地では、「とんぼの未来・北の里づくり」を合い言葉に、農業者をはじめとした地域住民の方々や自治会、関係団体などの幅広い参加によって、地域のきずなを一段と深めながら、農地・水・環境を守り、農村で夢を育てる取り組みが生き活きと展開されています。

「とんぼの未来・北の里づくり」(北海道における農地・水・環境保全向上対策の愛称)

北海道農地・水・環境保全向上対策協議会では、農業生産の基盤である農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るとともに、農村が有する自然循環機能を維持・増進するため、地域ぐるみで効果の高い「共同活動」と、農業者ぐるみでの地域の環境保全に向けた先進的な「営農活動」を、一体的かつ総合的に支援しています。

〔共同活動〕

- 農地・農業用水などの資源の適切な保全管理活動
- 施設の長寿命化など生産資源の保全向上活動
- 景観保全などの環境資源の保全向上

〔営農活動〕

- 化学肥料や化学合成農業を大幅に削減するなど、地域の環境保全に向けた先進的な営農活動

守りたい・広げたい 畦を彩るシバザクラ

DATA

●活動組織

風連西資源保全活動組織

●構成員数

170名、27団体(法人含む)

●協定面積

1,293ha



旧風連町の町花であったシバザクラが、今年も水田の畦道に美しく咲き広がりました。このシバザクラは、地域の農業者によって20年ほど前から植えられ、保全されてきたものです。美しい春色の農村景観を保全向上するため、農業者や行政区、老人クラブなどの多くの人々が参加し、新たな畦畔や農道などへの植栽や草取りに取り組んでいます。



草取り作業も
しました!



お力を
いただきました!



大雪山連峰を背景に 8kmのマリーゴールドの道



道内外から観光客が多く訪れる旭山動物園に近い豊田地域では、通行人の目を楽しませるフラワーロードづくりに力を注いでいます。地域住民が一体となり、開花期間の長いマリーゴールドを丹精込めて苗づくりから手がけ、移植・水やり・草取りなど、一連の維持管理活動に取り組んでいます。



苗づくり
しています!



みんなが
植えました!

DATA

●活動組織

豊田地域環境保全活動組織

●構成員数

88名、37団体(法人含む)

●協定面積

381ha



ひまわりと美しい景観がお出迎え



DATA

- 活動組織
北竜地区活動組織
- 構成員数
96名、9団体(法人含む)
- 協定面積
707ha



「ひまわりのまち」として知られる北竜町では、町花であるひまわりを国道に面した農地に植栽しました。夏には澄んだ空気と清らかな水が作り出す自然豊かな田園に見渡す限りひまわりが広がっています。地元住民はもとより、町を訪れた人々にも農村景観のすばらしさと大切さを感じていただくことができました。



ひまわりを植えました!

大切に育てています!

DATA

- 活動組織
姉富東ふるさと守り隊
- 構成員数
53名、29団体(法人含む)
- 協定面積
597ha



ウェルカムの気持ちで 季節をつなげるフラワーロード



日高山脈の裾野に広がる軽種馬産地の浦河町姉富東地域では、美しい農村景観の創造をテーマに、ルピナス、デルフィニウムなどの植栽を約800mにわたり行い、町内外の人々をあたたく迎えています。また、地域の小学校と連携し、伝統的農法による米づくり体験を行い、次世代を担う子供たちに農村文化を伝承することにも取り組んでいます。



約800mのフラワーロード!

米づくり体験!

大地に触れて感じて 地域がもっと好きになる

砂利道の
凸凹も
直しています!



田植を
体験!



羊蹄山の麓に広がる八幡地域では、地域が一体となって水路や道路の清掃活動、パイプライン敷地を活用した花壇づくりやアスファルト廃材を利用した農道の保全を行いました。また、小学生を対象に春と秋に田んぼ教室を展開し、田植えから稲刈りまで行う伝統的農業体験により農業の大切さを考える取り組みを行いました。

DATA

- 活動組織
倶知安八幡地域資源保全隊
- 構成員数
49名、19団体(法人含む)
- 協定面積
409ha



どじょうの引越し! みんなで支える地域資源

花壇を
つきました!

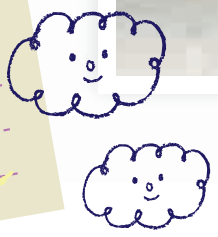


どじょうの
引越しを
しました!



DATA

- 活動組織
豊里みどりの会
- 構成員数
38名、10団体(法人含む)
- 協定面積
606ha



農業の持続的発展を目指し、雑草対策は除草剤使用から自走式機械刈りに転換を図るとともに、水稻・大豆では化学肥料・化学合成農薬の5割低減に取り組んでいます。これに併せて地域資源を守るため、小学校などと連携し、「どじょうの引越し」を行うなど生態系保全活動を展開するほか、農業者と地域住民が一体となって花壇造成を行いました。

農業と漁業の共存 地域ぐるみの資源保全活動を、より力強く!



みんなで
清掃活動!



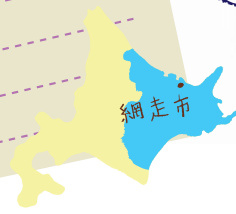
みごとに
ひまわり!



農道・排水路のきめ細やかな雑草対策、地域住民と力を合わせて行う沿道や排水路の清掃活動など、地域資源の保全活動を積極的に展開しています。本地域は能取湖に近接していることから、「農業と漁業の共存」も重要視して活動するとともに、農村景観の取り組みでは、農道沿いの花壇造成などを地域と連携して手がけています。

DATA

- 活動組織
西部地区資源保全協議会
- 構成員数
940名、25団体(法人含む)
- 協定面積
3,732ha



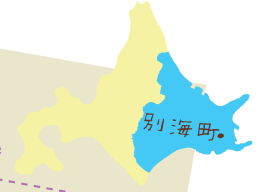
防風林内で 子供たちと動植物観察会



本組織は、草刈り機を改良し安全性と効率化の向上を図るなど環境面における活動内容も充実しています。防風林内に観察路を造成し、小学校と連携した動植物観察会を行うとともに、河川近傍への植樹、風連川水系の水質調査や生物の生息状況調査を行うなど、水質・生態系保全を実施。これらの活動内容は、広報誌に掲載し、広く発信しています。

DATA

- 活動組織
上風連みどりネットワーク
- 構成員数
83名、12団体(法人含む)
- 協定面積
6,661ha



広報誌で
紹介!



観察
しました!

未来を見据え 環境にやさしい農業

DATA

●活動組織

第5環境保全会(拓新地区)

●作物区分

水稻、大豆

●取組面積

7,691a



・新藤津村



農薬を使わず
お湯で種を
消毒しています!

有機質肥料を
つくっています!



水稻栽培
ほ場です!



水稻と大豆で営農活動支援に取り組む本地区では、土壌分析に基づく施肥設計を行い、化学肥料低減を図るとともに、種もみの温湯消毒の実施、害虫多発時のみの農薬散布や生物農薬の活用などにより、化学肥料・化学合成農薬の5割以上低減の取り組みを行っています。このほか、畦塗りにより漏水を防ぐなど、水環境にやさしい営農を実施しています。

有機物主体の土が育む 安全・安心キャベツ

カメラとセンサーで
畑を自動観察
しています!



農薬を
少なくする方法を
勉強しています!



エコファーマー
取得!



・鹿追町

DATA

●活動組織

鹿追中央地区保全隊(中央地区)

●作物区分

キャベツ(露地)

●取組面積

3,734a

冷涼な気候条件を活かし農薬低減などを実践していた本地区では、耕畜連携による土づくりや土壌分析データの活用により、キャベツ栽培農家全戸が化学肥料・化学合成農薬の5割以上低減に取り組んでいます。今後も環境に配慮した先進的営農活動に積極的に挑み、収量の増大に向けた技術の向上、販路拡大に取り組んでいくこととしています。





「とんぼの未来・北の里づくり」について

「とんぼの未来」には、いつまでもとんぼの命の営みがつづく北海道でありますように、「北の里づくり」には、北海道の美しい農村の原風景をみんなの力でつくり、守り、育てていきたいという思いが託されています。

お問い合わせ先

北海道農地・水・環境保全向上対策協議会

事務局：水土里ネット北海道(北海道土地改良事業団体連合会)
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 農地開発センター7階
TEL011-221-2292 FAX011-200-5352
<http://www.do-nouchimizu.com/>

